広報美濃加茂市

広報第10号

発行所
美濃加茂市役所

総予算一億七千万に更正

第三回　予算議会行わる

昨廿一日、廿二日の両日開催市議会において一九四〇万の予算が一七三五万円に減額修正された。

市の当初予算は、昨年三月、国の改変などによる変動の過渡時代に編成されたものであつて、各事業は、国の施策が決定しないまゝ、自主的に新しい地方公共法に基づいて、国庫の補助や起債等の依存財源の見込みたつて予算計上されていたものであつた。

その後、国のいわゆる一兆円予算が成り国の緊縮財政による施策もようやく整理し、補助、起債の廃止ないし縮減されたものですが、県の補助、起債の減額措置は停止された事柄を結果したものです。

内容においては、その特別財源の減少に対し、経費を節減しそれを事業費に充当して、実施には初期の事業を極力遂行するように調整した。

具体的には減額補正されたものとして、土木費が、国庫の事業抑制により、減額は設計費のみが行われ約一八四万減額されたが、補償は三五六万が昨年と比較すれば二二〇万と大きく増えとなり、事業そのものは拡大されている。

社会費が九三七万減額されたが、これは当初予定された市営住宅二〇戸が二戸となつたもので、生活保護費は九二万増加しており、保育所費増額も見込まれている。

産業経済費では六三七万減になつたが、これは土地改良事業、林道開設事業、市農業振興事業などの国庫補助等と伴う事業費の減少や

農計費更正による補正である

教育費は給与費の増額されたものは事業費の増額されたものは教育費は給与費の増額と小学校費等、小学校費等の増額されて能率的には三万増となつている

保健衛生費は、伝染病の発生や防疫対策事業の拡張に伴つて一〇万増加した。

以上増加した経費も、節約の徹底を全面的に励行して、事業費に充当されているのであつて、これ以外に、補助等の削減に伴い減額された事業費に充当し、当初の目的を達するため次の様に調整された

投資費では、は人件費等一六四万減額し所定額費、諸委託費は一七六万円減額して事業費（繰越）人件費等は、今後教育、家庭保健生活改善、牛乳給食強化など事業の中心地として市の発展に与える影響大きいものと考えられる

町役場前の市営住宅建設も完成しており、今後教育、家庭保健生活改善、牛乳給食強化など事業の中心地として市の発展に与える影響大きいものと考えられる

年頭の辞

市長　渡辺栄一

迎春一九五六年の恒き新春を寿ぎ心から御慶を申上げます。

農商工の産業文化都市を自指して躍進した市も、歴史の新年を迎え、確固たる基礎の上に立つて新市建設計画の夢を一つ一つ実現しつつ着実な歩みを続け力強く発展いたし、誇り得ることは、市民各位の御理解ある協力の賜であります。

昨年は市議会議員選挙の改選が行われ、併せて行政機構の改革問題など新しい難題に於て諸問題の解決をいたしたのでありますが、近代的施設を誇る新庁舎の山之上小学校を初め、伊奈、三和両校舎の建設を急いたし併せて給食設備の全校下設置を図する等文教施設を整備充実すると共に、厚生施設として公衆便所、保育所建設は未曾有等夫々の部門に亘り順次建設を進めて参りますが、何れも厳しい財政のもとに住みよい市作りに努力いたしたのでありまして要に本年は内外の諸状勢に鑑み用い一層調査を進展を進め、確固たる心構を以て、自治行政の効率化を図り、強力な市政の実現を期したいと存じます。

然したから昨今に於ける地方財政の現状は国内外共極めて深刻なものがありまして、地方制度の根本的な改革による解決は緊急の急なるものがあります。この時に当り、昨年より新市建設計画の立案から、この問題の解決策について既に鋭く意識いたした結果、新市町村建設法の制定、地方自治法改正による行政の簡素化など、根本的行財政機構が制度化られ、今春の通常国会提出の運びとなりつゝあります。特に地方税法の改正による地方自治行政の確立は誠も緊急の要務であると存じます。

年末、当市を中心とした観点に立つて市議会議員選挙が施行され、新議員の方々が御当選されて、市政の発展に御尽力賜わることは、誠に慶賀に堪えません。

今や我が国の内外情勢は大きな転換期に直面しており、極めて困難なのるものがありますが、こうしたときこそ我々は共々の立場から新しい意欲と新しい意識のもとに、民主的な建設の一翼を担はなければならないのであります。

この時に当り、市議会の新議員の方々に対し、市政の発展に御協力を願いたいと存じます。

市政運営の方針のもとにその発展を期したいと存じます。

年頭に際し、市議の諸多様を御祈りして御挨拶といたします。

年頭の詞

市議会議長　竹森貞一

竹森市議会議長

新しい昭和三十一年を迎えます。

すこに当り、謹んで吉が美濃加茂市の発展と市民各位の幸福を祈り切に祈るものであります。

吉が美濃加茂市も合併後三年目を迎えました。私市議会議員は先輩諸賢の努力による合併の目的と諸計画を継承し、市政の向上と市民の福祉に努力をいたして二カ年を過しました。他にして市民各位の絶対な協力と市当局の不断の努力によりまして年と共に発展なる発展を遂げつゝあり前途に洋々たる希望を持つものであります。しかしながら財政は極めて困難な状態にあることは、既にその他の報道により御承知の通りでありまして、当市といえどもその例外にはなることは出来ません。

内々できるだけ充実を図り、各位の多くの意見を聴する事柄から公開を計るべく、その他を許される限りでありますが、どうか市民各位におかれても良くこの事情を御了察の上御協力下さらん事を切に願いたします。私共議員一同はよく市民各位の声を尚市民の代弁者たる重大な責任を守り、市民各位の御協力のために市当局と緊密な連絡を保ち尚一層の努力をいたすべく年頭に当り市民各位に御願いするものであります。

何卒市民各位の絶大なる御協力を切に御願いして年頭の御挨拶といたします。

集約酪農本決り

区域は三市二郡

美濃加茂市は、三市一郡にわたる「中農酪区」が集約酪農地域が廿一月十日全国三十地区と共に正式指定に答り内示された。

この区域は

美濃加茂市、坂祝町（小倉山を含む）

可児郡　可児村、可児町、兼山町、御嵩町（上恵土、下恵土、伏見、久々利、平牧、広見）

加茂郡　坂祝、富加、川辺、川辺（上米田）八百津（和知、八百津）

可児郡　御嵩（上之郷、御嵩、中位置）可児（今渡、土田、帷子、善長、久々利、平牧、広見）兼山、御嵩

この酪農振興法に基づく「集約酪農地域」の事業や効果計画については、広報紙等に詳しくお知らせしましたが、本市域が指定された理由は次の様です

1. 地域内の増産と生産の高度利用を農業に関係する経営農業を確立するための酪農振興を2. 山林の一八%を占める牧野適地を利用する
3. 本地域の農業経営労力対策として酪農を
4. 農業者市を活用に流れしている

という点を取り上げていますが、事業計画としては、三年から五年間に、乳牛の増頭と改良、飼料の自給と経営の合理化、牛乳の販売の合理化、家畜の保健衛生、市農業技術の強化など、色々具体的な事業も徐々に実行されていくと思われる。現在当市では四十五

市営住宅　二十二戸建設

古井、太田町内に

美濃加茂市三千半度の市営住宅（ブロック住宅二戸、木造平屋）の新築工事は去廿日に着工したもので、古井町上古井の新築の高台に木造一棟（二戸当二〇・五坪）十戸、特別耐火構造（鉄筋平家建）（六坪）四戸計十二戸が、太田町一戸、太田町手塚別内の市営住宅建設に伴い年度に続き特殊耐火構造（鉄筋住宅）（十坪）八戸が建設されています。

この工事によつて、美濃加茂市の市営住宅は七十八戸となつて市内の住宅難緩和と市勢の発展に大きく貢献している。

上古井駅北に建設中の市営住宅群

市公平委員に

高井正雄氏

さきに市公平委員、坂井良氏が辞職されて、欠員中であつたその補欠委員として高井正雄氏（加茂郡郡）が選任された

柏木排水路着工

都市計画事業

美濃市の基線が開通すると共に中心地帯の住宅はめざましいものがあり、特に古井町上古井地内は平坦な敷地と交通に恵まれ、住宅適地へと発展が期待している現状であつて新しい都市計画事業の重要性が取り問題されます。

市では都市計画事業として、市勢の発展事業の推進と共に区画整理事業、上水道事業などを計画しており、今後これらの都市計画事業の一環として排水路の建設を行っています。

先年三年度は柏井町下古井の柏木、神明宮地内に延長四百三米の排水路を整備し、〇八万円で十二月に竣工した。これにより市街地の排水はんらんの悩みも徐々に解決されてゆくことになった。

大臣表彰に輝く竜山氏

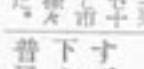
社会福祉事業功労者

昨年十二月十日、全国社会福祉事業大会の席上、市内太田町竜山卓造氏（新屋字住吉七十才）が、社会福祉事業功労者として、厚生大臣より表彰されました。

氏は天正三年目録授受を開設、昭和二十年度に現在の保育所を開き、この間、常に奉仕を尽し、児童の育成教育をはじめ関係の新僧につとめてこられたものである

都市計画審議会

委員決る



新しく出来た市条例

重要文化財を保護

市文化財保護条例

こゝ数年前に『文化財保護条例』と共、市内にある文化財で国の文化財保護法によつて指定されないものの中で、重要なものは市でその文化財の保存及び活用のための必要な措置を講じようというものです。

それでは、その対象となる文化財は、どういうものを言うのでしょうか。

1. 有形文化財
建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、民俗資料
その他の形のある文化財産で市にとつて歴史上文化芸術上価値の高いもの及び考古資料
2. 無形文化財
演劇、音楽、工芸技術でその価値の無形の文化財産で、歴史上又は芸術上価値の高いもの
3. 記念物
市にとつて価値のある史跡、名勝及び天然記念物をいう。

こうしたものの中から、市の教育委員会所有者の申請に基き、又はその同意を得て指定し、所有者に管理の維持を負わせたりその保存に必要な援助を行うというものです

市税条例など　も一部改正

この他、地方税法の一部改正に連動する市税条例の一部改正、現在の情行を明文化した分損金徴収条例などに知らせた諸規法に基いて、現在の行政処理事務を行つてゆくためのことなどを定めた諸規条例などが設定された

又、特に比べて低額であつた職員給料を、年間課長七万一千、課員四万五千円とする条例と、職員の超勤事務を、国に準じて、一部増額するための条例も色々検討の末設定された。

消防出初式

功労者七八名表彰

昭和三十一年の、市消防の出初式は一月六日、太田小学校々庭で行われました。

当日は、市消防隊、消防団員、女子消防隊、自動車ポンプなど三六台が乗り込んだ消防隊員を、ひろげ、この席において、市の消防事業に功労のあつた人々の表彰も行われた。

市長表彰者

△太田＝三島興吉、鷲切栄、村井勇△古井＝鷲切徳、山田久夫、鷲切豊吉、鷲川昌△山之上＝森田栄、鷲切栄吉、鷲川正夫△下米田＝林俊弘、鷲切栄吉、井戸勇男△和知＝柳田栄夫、鷲切功△伊奈＝井戸守、鷲田勉△静屋＝加藤賢、加藤吉兄△加茂野＝高井亨一、加藤力丸

消防長表彰者

△太田＝林義平、三島芳夫、古川興、高木松雄、鷲切勝治、鈴木保之△古井＝鷲切俊雄、鷲切文一、鷲川俊夫、岩田治三郎、鷲切栄、三宅清治、鷲切栄吉、山田正夫△下米田＝林俊弘、鷲切栄吉、田辺増夫、山田勉△三和＝島野一男、鷲川栄夫、山田勉△伊奈＝鷲切栄、村井正一、佐藤男、大谷茂吉△静屋＝酒井正義△伊奈＝鷲田栄吉、鷲切栄吉、長瀬利一、酒井早△加茂野＝木村忠己、高橋行一、日比野鷲一、石橋勝一、竹森貞一、野田三、竹森貞一

都市計画審議会、都消防隊員、消防隊員、消防隊員、

渡る世間に鬼はない

温かい市民のこころ

年末たすけあい運動

今年も三万市民そろって明るく楽しい年月を送ることができました。こうしたときには、毎年『たすけ合い運動』に示された市民の厚い協力をされることができません。こうした、たすけ合いの心こそ、私達の生活を明るくする夢を大きなものでしょう。

ここに年末の『たすけ合い運動』によせられた、数々の心温まる話をお伝えしよう。

1.共同募金は

昭和三十年の共同募金運動は十月一杯行われ三一八、九〇〇円の浄財が寄せられ、共同募金会へ送られて生活に困っている人々に送られました。

2.年末たすけ合い運動は

○近郊を母子寮へ

吉井町下古井の岩政二さんは衣類十数点を寄附されましたので、市福祉事務所では母子寮へ届けました。

○働いたお金を寄附

太田町西川の林良蔵さんは、十一月中に、市内のある絶工所へ勤務する傍ら、日給日を利用して得たお金五百円を市福祉事務所へ寄託された。

○子供達も

太田小学校第三組のよい子等も、ラジオや新聞で知った『たすけ合い運動』に協力しようと自分達で相談して、自分達の郷小遣を節約したお金八二五円と作文を、市の福祉事務所へ差し出して、先生方や市役所の人々を大感激させました。

○福田さんも

市内大針の福田風一さんも衣類十数点を生活に困っている方へと寄附された

○盲目も自慢話

市の仏教回天会の盲目三十名は、十二月二十四日朝市役所へたちより、お志三所と約金一千五円を年末回慰金へと福祉事務所へ寄託した

○市福祉協議会では

市社会福祉協議会では年末回慰金として市内の生活保護家庭とそれに準ずる家庭（百名）を対象として四四一〇〇円を交付しました

農業の祭典相次ぐ

県下畜産共進会 種牡豚共進会 市農業共進会

農作の豊かに満ちた三年の秋には、美濃加茂市においても色々な催しがあった。

先ず、市出荷力増約酪農地に指定になった事を祝福するかの如く第十回岐阜県畜産共進会（乳牛の部）が十一月二十六日の四日間市内太田小学校々庭で華々しく行われた。市ではこれに二頭花を出すべく、市主催の岐阜県種牡豚共進会と、市の農業の祭典「第二回農業共進会」を盛大に併せて開催した。

大会当日は県下各地から入荷した乳牛審査風景

乳牛審査における畜産共進会

農業共進会は、入賞三十六頭の中、市内では六頭入賞した。

乳牛共進会では、入賞三十六頭の中、市内では六頭入賞した。飼育者は

未経産牛内等牛藤吉郎一（加茂野）三宅孝一郎（古井）、藤原生二郎森広一（下米田）三等牛横芝雄（下米田）四等大橋喜一（古井）

経産牛内等牛大橋一（古井）二等牛川口吉（古井）森川進（古井）四等牛渡辺貞一（古井）日比野一市（古井）加納勝（下米田）の各氏の飼育牛が入賞した。

この他市の農業共進会の入賞者は

○玉米小麦賞（山之上）、白田口賞一（加茂野）、鶏卵賞（下米田）、鶏舎賞（下米田）、菊育種賞（下米田）、蔬菜賞（下米田）、蔬菜賞（下米田）、蔬菜